

平成 31 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：宇和島市

島名：嘉島

協定締結集落名：嘉島

交付金額：2,799 千円

(1) 基本交付金：2,799 千円

(2) 新規就業者特別対策交付金：0 円

協定参加世帯数：42 世帯、50 人（うち漁業世帯 20 世帯、23 人）

2. 協定締結の経緯

集落協定を締結している嘉島地区は、ブリの養殖、一本釣り等が盛んに行なわれている。しかし、魚価の低迷、不安定が長く続き島の活気が失われつつある。そこで地域漁業の活性化を図るとともに、集落の漁業生産活動が活発な状態となることを目指して離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

① 漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・アオリイカ等の資源量が減少しているため、資源増大を目指し、産卵礁の作製・設置を 8 回（延べ 72 名）で実施した。笹で産卵礁を作製し、嘉島地先 4 カ所の海底に設置した。
- ・アワビ・サザエ漁場の資源を守るため、船による漁場監視を 7 月～9 月にかけて 16 回（延べ 76 名）実施した。
- ・嘉島周辺海域の藻場が減少しているため、ウニ（ガンガゼ）の駆除を 8 回（延べ 215 名）実施し、藻場の回復を図ることとした。

② 漁場の再生に関する実践的な取組状況

- ・ヒジキや天草、養殖ブリ等の海産物に付加価値をつけ商品化し、イベントや直売所等で販売して宣伝と増収を図ることとした。

③ 新規就業者に係る取組状況 なし。

4. 取組の成果

- ・ヒジキや天草、養殖ブリ等の海産物を加工して付加価値をつけ、商品化したものをイベントや直売所等で販売することにより増収が図られた。
- ・産卵礁を作製して海底に設置することにより、周辺に稚魚や稚イカが多く確認された。
- ・密漁を防止し、漁場資源を保護するために漁場監視を実施した。異常は発見されず、漁場の安全が保たれた。
- ・ウニ（ガンガゼ）を駆除することにより藻場の回復が図られた。



漁場監視



漁場の管理改善（ガンガゼ駆除）



産卵育成場の整備



高付加価値化（ブリ）